

平成29年度水道事業決算の概要

地方公営企業である水道事業の経理は、水道水を供給するための経費と財源を表す「収益的収支」と、水道施設の建設・改良や企業債の元金返済に係る経費と財源を表す「資本的収支」の2つに区分し、複式簿記により行っています。

「収益的収支」では、前年度と比較して、収益が昨年冬場の大雪に伴う水道料金収入の増等により1億2,956万円増加したことから、収益が費用を上回り、純利益が約1億917万円となりました。

また、水道事業ビジョンのフォローアップとして、人口減少や節水による給水量の減少、それに伴う収益減少や水運用計画について検証し、施設規模の見直し、施設更新の優先順位など事業費削減策を検討しました。

「資本的収支」では、建設改良費が、前年度比較で1億1,422万円減少し支出全体では13億943万円となりました。主要事業としては、七田市送水ポンプ場の更新工事および屋上防水工事を実施しました。また、継続して老朽管更新や下水道工事及び北陸新幹線整備事業に関連した水道管の移設工事等を行いました。

1. 収益的収支（税抜）

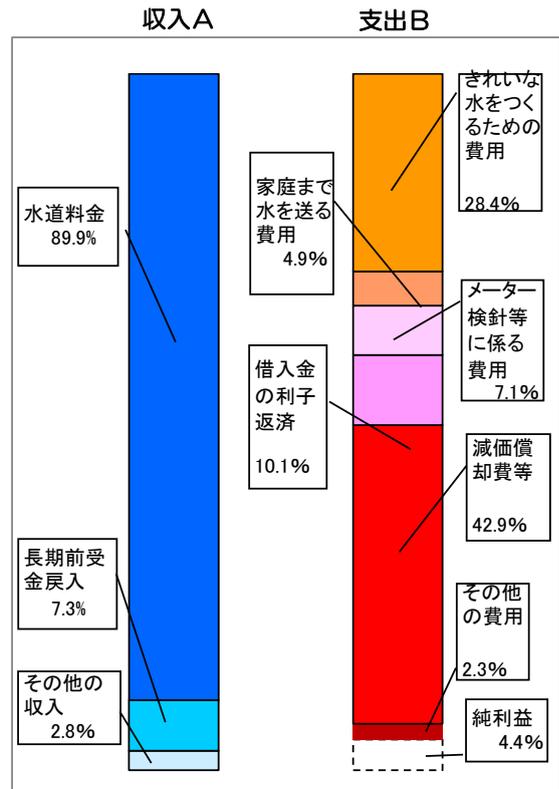
(1) 収益的収入（税抜）

区分	決算額
水道料金【給水収益】	22億3,432万円
補助金等償却費相当額【長期前受金戻入】	1億8,065万円
その他の収入【給水加入金ほか】	6,926万円
合計	24億8,423万円 A

(2) 収益的支出（税抜）

区分	決算額
きれいな水をつくるための費用【原水及び浄水費】	7億500万円
うち県水受水費【受水費】	5億931万円
家庭まで水を送る費用【配水及び給水費】	1億2,199万円
メーター検針や料金収納等営業等に係る費用【業務費、総係費】	1億7,591万円
借入金の利息返済【支払利息及び企業債取扱諸費】	2億5,041万円
減価償却費等【減価償却費、資産減耗費、繰延勘定償却】	10億8,610万円
その他の費用【受託給水工事費ほか】	3,565万円
合計	23億7,506万円 B

収益的収支差額（純利益）※ **1億917万円 C (A-B)**



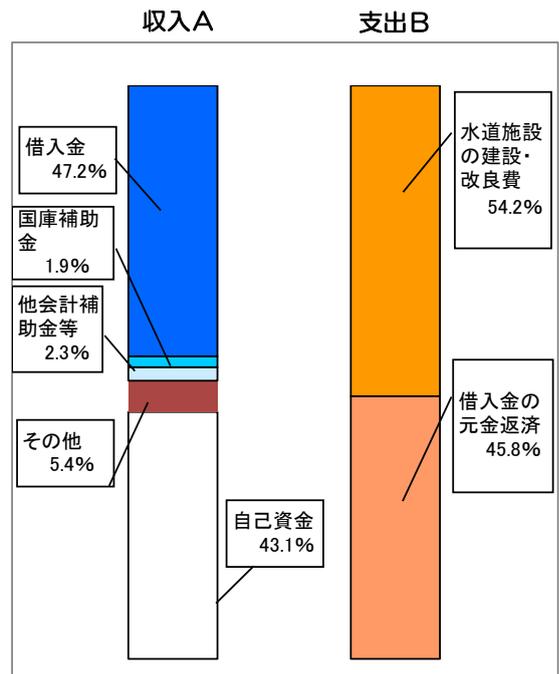
2. 資本的収支（税込）

(1) 資本的収入（税込）

区分	決算額
借入金【企業債】	6億1,840万円
国補助金【国庫支出金】	2,510万円
他会計からの補助金等【他会計出資金、補助金、負担金】	4,150万円
その他の収入【工事負担金、固定資産売却収入】	6,031万円
自己資金（内部留保資金※）	5億6,412万円
合計	13億943万円 A

(2) 資本的支出（税込）

区分	決算額
水道施設の建設・改良費【建設改良費、開発費】	7億952万円
借入金の元金返済【企業債償還金】	5億9,991万円
その他の費用【過年度補助金等返納金等】	0万円
合計	13億943万円 B



※1 自己資金（内部留保資金）とは、現金を伴わない支出（減価償却費等）相当額や当年度以前の利益等です。
 ※2 収益的収入・支出、資本的収入・支出の区分欄の【】内は、決算書の科目名を表しています。